

子どもたちに
理科の楽しさを



2019年12月 技術部会

理科実験グループ 活動報告

DIRECTFORCE
理 科 実 験 グ ル ー プ

1. 理科実験グループの活動状況

➤ イベント回数	2018/1～2018/12月	172回
	2018/4～2019/3月	167回
	2018/9～2019/8月	182回
	2019/1～2019/12月	182回

➤		2018年	2019年
	～7月	87件	88件
	8月	18件	27件
	9月	12件	16件
	10月	18件	27件
	11月	23件	17件
	12月	14件	16件(予定)

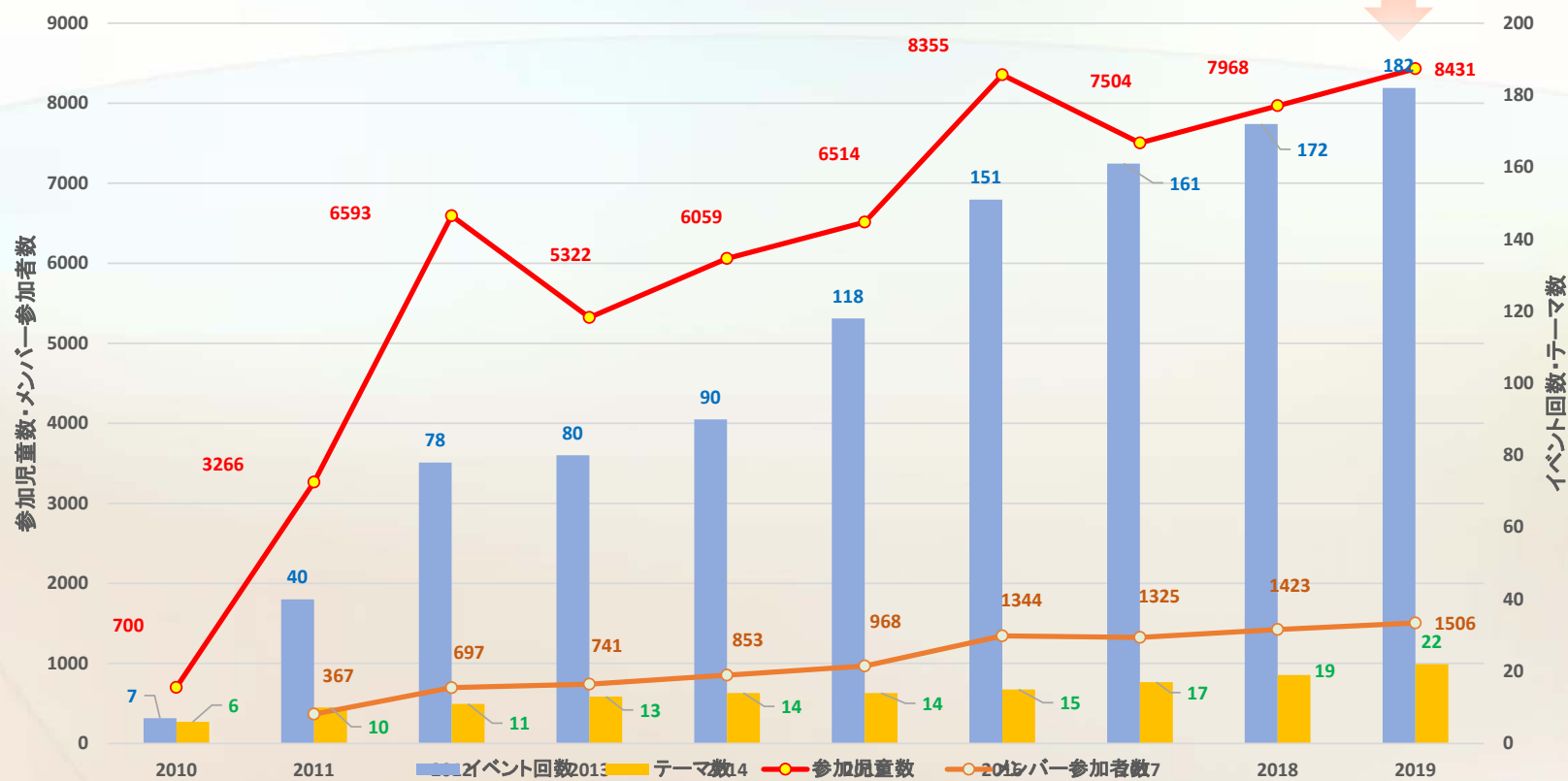
➤ 2019年は、8月・10月への集中が著しい

理科実験グループ活動実績 2019年12月末予測

累積1080

累積実験回数1,000回突破

2019年
182回



8月以降の主な動き

- 8/17 石神井図書館で、理科実験1000回に到達
- **タスク関連の動き** ⇒ **別途報告**
- 8/27 理科実験G支払い基準の改定
- 9/7 DF事務所移転 7F⇒6F
- 9月末 ゆめ基金イベント本年度申請分 見送りを決定
- 10月 タンザニア理科実験は、JICAからの資金がつかず見送り
- 10月 小学生プログラミング教育必須化について情報紹介し、
平井さんをリーダーとして、有志にてプログラミングテーマ研究会を11/21キックオフし、情報の収集と検討を開始

2. 4/1 & 11 意見交換会後のタスク

- ✓ 意見交換会意見集約しタスク抽出
- ✓ タスクとタスクリーダーを決定し、6月活動開始
- ✓ 世話人会で随時報告・検討し、定例会に中間報告する。
- ✓ アクションプランがまとまり、8件中
 - 実施中 2件
 - 成果検証中 5件
 - 一部実施・一部保留中 1件

2. 4/1・11 意見交換会後のタスクとリーダー

I. 小先生の参加を増やすための方策

- | | | |
|----|-----------------------|---------------|
| 1. | イベント出席表の改善 | 酒井さん |
| 2. | 小先生の習熟度アップの方策 | 酒井さん、(横山祐作さん) |
| 3. | 自由意思を尊重しつつ主体的な参加意識の醸成 | 金子さん、赤木さん |
| 4. | 負担費用軽減の検討 | 関口 |

II. 理科実験のレベル向上

戸田さん、神永さん、眞弓さん

☞意見交換会で出た項目だけでなく、考えさせる授業や外部とのコラボも含め

「**DF/理科実験Gが目指す方向**」について、議論の上、タスクを抽出する。

III. その他

- | | | |
|----|--------------------|--------|
| 1. | テーマ関連のタスク | 横山祐作さん |
| 2. | 外部(学校関係者等)へのインタビュー | 赤堀さん |
| 3. | アンケート調査の実施 | 立石さん |

意見交換会後のタスクの今後の進め方

<意見交換会後のタスクの今後の進め方>

- 12月定例会にて、タスクの進捗を報告
- その結果を踏まえて、2020年度の課題を3月末までに作成する。

<10周年記念行事>

- 2020年4月に実施予定で、内容検討中

以上